

なぜ記憶屋は  
彼女の 中から  
僕の記憶を  
消したのだろうか

1・17 FRI





恋  
人

約束したんです。  
彼女の記憶を  
僕が必ず取り戻すと。



孫  
と  
祖  
父

何があっても人は、  
いつか忘れていくし消えていく。  
そういう風に神様は  
作ったんじゃないかな。



父  
と  
娘

これが娘のために  
してあげられる  
唯一のことなんだ――。

記憶を消しても、守りたい愛がある――。



わからないじゃない、  
先のことなんて誰にも。

刊行以降「泣けた」「感動した」「心震えた」と絶賛口コミ

監督には映画『ツナグ』『僕だけがいない街』、ドラマ『JIN-仁-』『天皇の料理番』『義母と娘のブルース』など次々と話題作の映像化作品を手がける平川雄一朗。主演には『ナミヤ雑貨店の奇蹟』で等身大の青年を演じきった山田涼介。共演には芳根京子、佐々木蔵之介、蓮佛美沙子、田中泯、杉本哲太、佐々木すみ江、泉里香、プラザートムなど、日本映画界には欠かせない唯一無二のキャストが集結。豪華キャストスタッフによる「記憶に残る作品」が誕生する。

消えた記憶に秘められた、すれ違う想いとは――。

が殺到した織守きょうやの原作「記憶屋」が映画化!

STORY 人の記憶を消せる“記憶屋”っていう人がいるらしい――。大学生の遼一(山田涼介)は、恋人・杏子(蓮佛美沙子)と幸せな日々を送っていたが、ある日、杏子から遼一の記憶だけが無くなってしまう。遼一は都市伝説的な“記憶屋”的ことを知り、弁護士の高原(佐々木蔵之介)と幼馴染の真希(芳根京子)とともに、杏子が記憶を失った原因を探すことになる。記憶屋の正体に近づくにつれ、遼一は多くの人が記憶屋に人生を救われていることを知る。だとしたらなぜ杏子の中から遼一の記憶だけが消えたのか。記憶をめぐる様々な愛を知り、彼らがたどり着いたその先には、運命を大きく変える真実があった――。